

## 船舶事故調査報告書

令和5年11月1日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 伊藤 裕 康（部会長）  
 委員 上野 道 雄  
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員負傷
発生日時	令和5年2月17日 07時15分ごろ
発生場所	青森県三沢市三沢漁港北方沖 三沢港内東防波堤灯台から真方位359° 1.1海里（M）付近 （概位 北緯40° 41.9′ 東経141° 26.4′）
事故の概要	漁船第一幸神丸 <sup>こうじん</sup> は、操業中、甲板員が負傷した。
事故調査の経過	令和5年3月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第一幸神丸 4.87トン AM3-21366（漁船登録番号）、三沢市漁業協同組合 10.13m（Lr）×2.50m×0.84m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和56年8月5日
乗組員等に関する情報	船長 48歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成14年4月4日 免許証交付日 令和3年6月14日 （令和9年5月21日まで有効）  甲板員 71歳
死傷者等	重傷 1人（甲板員）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長及び甲板員が乗り組み、ほっき貝漁の目的で、令和5年2月17日06時30分ごろ、三沢漁港北方沖の漁場に向けて同漁港を出港し、06時40分ごろ、漁場に到着して操業を開始した。 ほっき貝漁は、船尾から約200mの錨索をつけた約50kgの錨を投錨して張り合わせながら約200m前進し、約20mの引き縄を付けた噴出式ステンレス製かご（以下「マンガン」という。）を左舷船首から投入して操舵室左舷側のドラムで錨索を巻き、マンガンで海底を鋤きながらほっき貝を採取するもので、本船では、左舷側で作業が行われていた。（図1、写真1参照）

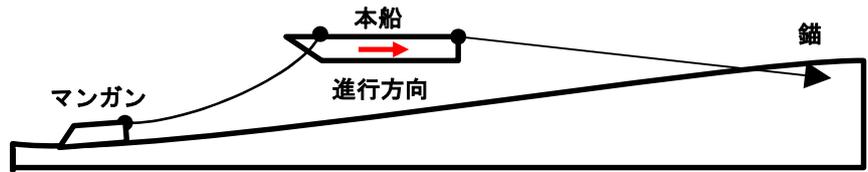


図 1 ほっき貝漁の操業状況



写真 1 錨索の状況

船長は、マンガンの投入後、前部甲板上で揚収及び漁獲物の仕分け作業を行い、また、甲板員は、錨索を巻いて後進する際、巻き上げた錨索が絡まないようにエンジンケーシングの左舷側で錨索をさばく作業を行っていた。

船長は、錨索を巻いて後進中の07時15分ごろ、前部甲板上で前回の漁獲物の仕分け作業を行っていたところ、甲板員の悲鳴が聞こえたので、確認したところ、甲板員が右手を錨索とドラムの間に巻かれているのを認めた。(写真2参照)



写真2 本事故発生時の状況

船長は、操舵室前面の左舷側に設置された非常停止ボタンを押してドラムを停止させ、巻き付いた錨索を外して甲板員を救助し、所属する漁業協同組合に対して救急車の手配を依頼した後、錨及びマンガンを放棄して三沢漁港に帰航することとした。

甲板員は、三沢漁港に入港後、救急車で八戸市内の病院に搬送され、医師により、右母指切断と診断された。

(付図1 事故発生場所概略図、写真3 本船 参照)

その他の事項

甲板員は、ドラムで錨索を巻き上げる際、ドラムに錨索が挟まる溝があるので、錨索を保持する必要はなかったが、船長の手伝いで前部甲板に移動しようとしたところ、船の動揺によりバランスを崩し、とっさにドラム付近の錨索を右手で掴んだ。

船長は、甲板員が過去に本事故と同様の事故で指を一部欠損していたので、ふだんから錨索を持たないように指導していた。

分析

乗組員等の関与  
船体・機関等の関与  
気象・海象等の関与  
判明した事項の解析

あり  
なし  
なし

本船は、三沢漁港北方沖において、操業中、甲板員が前部甲板に移動しようとした際、バランスを崩し、とっさに右手でドラム付近の錨索を掴んだことから、右手が錨索とドラムの間に巻き込まれて負傷したものと考えられる。

原因

本事故は、本船が、三沢漁港北方沖において、操業中、甲板員が前部甲板に移動しようとした際、バランスを崩し、とっさに右手でドラム付近の錨索を掴んだため、右手が錨索とドラムの間に巻き込まれた

	ことにより発生したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・乗組員は、作動しているドラムに近寄らないこと。近寄る必要がある場合は、ドラム付近の錨索に触れたり、ドラムに巻き込まれたりしないよう十分に留意すること。</li></ul>

付図1 事故発生場所概略図

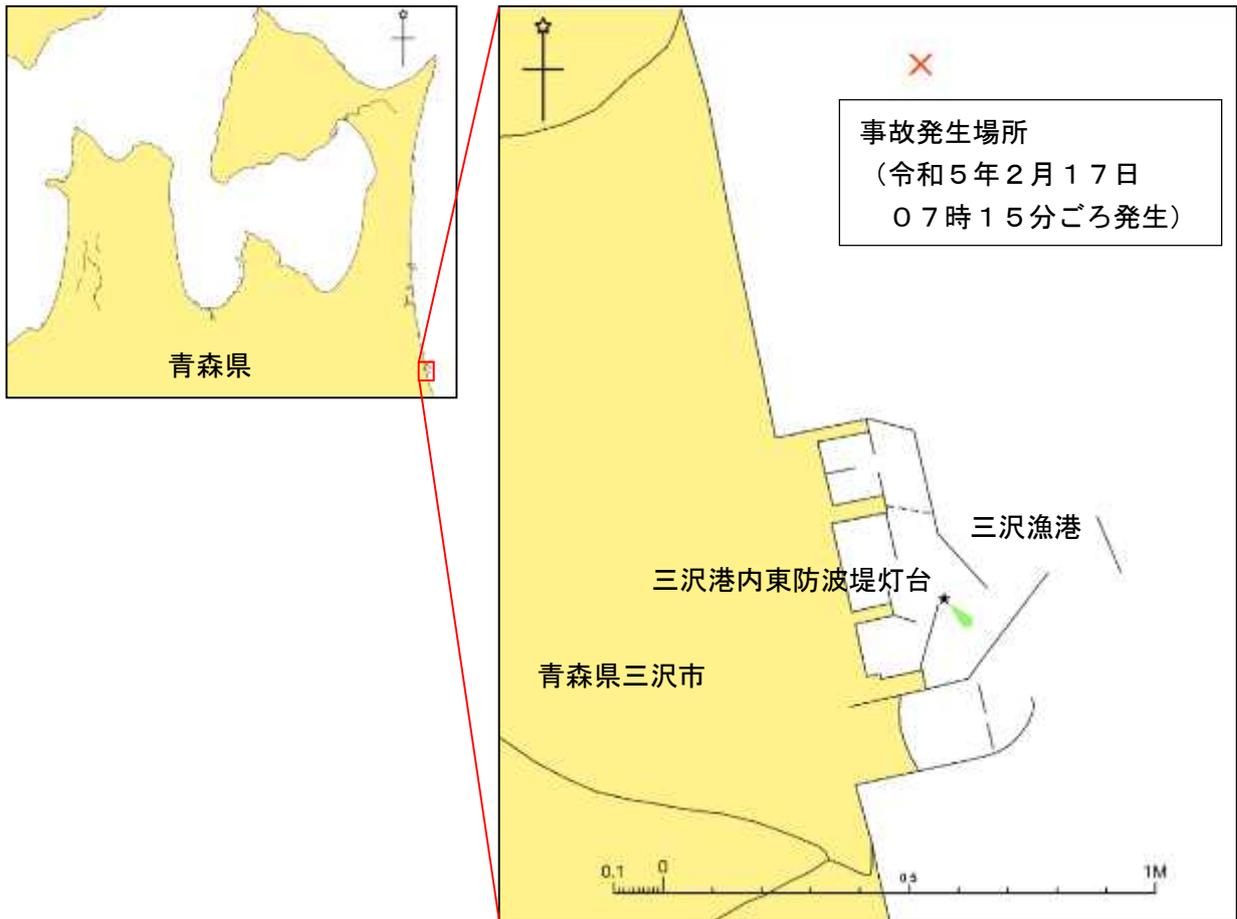


写真3 本船

